

筑波山山行報告（平成 29 年 4 月 23 日（日））

天気： 晴れ、風がやや冷たい 参加者（6名）： 伊藤、荻野、神田、早坂、松山、三浦
行程： 秋葉原 7：30＝8：16 つくば駅 8：30＝9：30 つつじが丘＝9：45 山頂駅－9：55
女体山山頂－10：05 分岐－11：00 キャンプ場 11：20－11：30 女の川－13：35 御幸ヶ原
14：40－筑波山神社 15：10＝15：50 つくば駅（反省会） 18：25＝19：10 秋葉原（解散）

筑波山はご存知百名山で、登りやすいこともあって多くの観光客や登山者を集めている。大部分の人は南側から山頂を目指しているが、実は裏側（北側）は花の宝庫なのである。昨年北側の斜面を歩いたところニリンソウの大群に感動したので、今回は花を狙った山行として同じ時期に皆さんをお誘いしたところ 6 名が参加することになった。

当日は「つくばエクスプレス」秋葉原駅発の電車に乗り、つくば駅に向かう。今回は「つくば切符」を購入したが、お得で便利な切符である。シャトルバスに乗り終点のつつじが丘からロープウエーを利用して 5 分くらいで山頂駅に着いた。ここからは 10 分かつからず女体山山頂（877m）に着くが、山頂は大勢の観光客や登山者であふれかえっている。

この山頂直下が北側への下山口となり、先ほどの混雑とは打って変わった静かな道を筑波高原キャンプ場目指して急斜面を降りていく。すぐに道の両側にカタクリが現れだし、徐々に数が増えてきて群落になっているところもある。下るにつれ新緑の樹が増えてきて、青空の下さわやかなハイキングとなった。11 時にキャンプ場に到着、20 分ほど休憩した後出発し車道を 10 分くらい歩くと、道路を横切るように女の川が流れている。「女の川」という大きな看板があるのでわかりやすく、ここから川沿いに山頂近くまで登っていく。

川沿いに登ること数分で早くもニリンソウが現れた。真っ白であまり大きくない花なので、派手ではないがかわいい花である。どこまでもニリンソウの群落が続くが、上に行くにつれてカタクリの花が多くなってきた。白いニリンソウの群落の中にピンクのカタクリがアクセントになっている。あまり知られていないのか、ほとんど人が通らず静かである。

なおも花を見ながら沢を上り詰めていくとさすがに花が少なくなり傾斜がきつくなってきた。岩が多い道を登ると女体山直下の登山道に出て、観光客と登山者の人波の間を縫うようにして御幸ヶ原に着いた。茶店のベンチで一休みしていると、晴れて日が当たっているが風は冷たい。ケーブルカー乗り場に長い列ができてきたので慌てて下山する。筑波神社からはあまり待たずに来たバスに座ることができて、バスの中で爆睡してつくば駅に着いた。駅前ビルにある居酒屋のチェーン店で反省会をし、18 時ごろお開きとした。18 時 25 分発の快速で秋葉原に向かい、秋葉原で解散した。

今年は 4 月に入ってから寒かったせいか、ニリンソウは 7 分咲きくらいであった。満開を狙うのなら 4 月末か 5 月上旬がよさそうである。いずれにしても、皆さんにご参加いただき花を楽しむことができて楽しい山行であった。

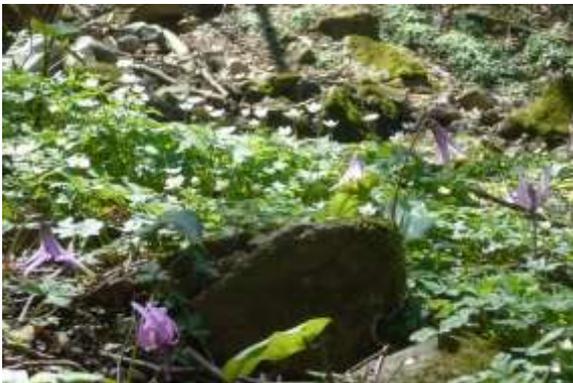
（伊藤）



青空と新緑



女体山頂にて



カタクリとニリンソウ



花を楽しむ



傑作は？



山頂で一杯